

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 24 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県久留米市藤山町768-1-101

住 所

株式会社エフジー

氏 名

代表取締役 藤崎貴介

電話番号 0942-22-4800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社エフジー
事業場の所在地	福岡県久留米市藤山町768-1-101
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	元請工事完成工事高約4億円
③ 従業員数	30名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事作業所内にて分別し積込運搬 ↓ ・中間処理業者への処理委託（再生利用） ・最終処分場への処理委託（埋立処分）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	3,502 t	575 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック類
	排出量	7 t	36 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物
	排出量	44 t	41 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）
	排出量	2 t	3 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	廃アルカリ
排出量	2 t	0 t	
産業廃棄物の種類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
排出量	0 t	0 t	
（これまでに実施した取組）			
<ul style="list-style-type: none"> ・現場での選別の徹底 ・再生可能な中間処理業者への処理委託 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック類
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	廃アルカリ
排出量	t	t	
産業廃棄物の種類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
排出量	t	t	
（今後実施する予定の取組）			
引き続き、 <ul style="list-style-type: none"> ・現場での選別の徹底 ・再生可能な中間処理業者への処理委託 			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）	
	人力及び重機を使用し、各産業廃棄物の分別を徹底して行う。	
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）	
	これまで同様、 人力及び重機を使用し、各産業廃棄物の分別を徹底して行う。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組) 実績なし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組) なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	紙くず	廃アルカリ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組) 実績なし			
	②計画	【目標】		
産業廃棄物の種類		がれき類	木くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		繊維くず	廃プラスチック類	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		ガラスくず等	管理型混合廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		紙くず	廃アルカリ	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
(今後実施する予定の取組) なし				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組) 実績なし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組) なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 (6 年度) 実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
		全 処 理 委 託 量	3,502 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	971 t	76 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,502 t	575 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類		繊維くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	7 t	36 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	4 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	7 t	36 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	2,500 t	400 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	500 t	200 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,500 t	400 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類		繊維くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	t	20 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	20 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	20 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

【前年度 (6年度) 実績】				
①現状	産業廃棄物の種類		紙くず	廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量		2 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		2 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	産業廃棄物の種類		廃油	水銀使用製品産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量		0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類		紙くず	廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	産業廃棄物の種類		廃油	水銀使用製品産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			